



ガバナンス体制の強化

コスモエネルギーグループは、CSR中計の重点項目として「ガバナンス体制の強化」を掲げています。

本来のコーポレート・ガバナンスとは異なる観点を追加し、企業価値向上の重要な基盤として、ガバナンス項目に意図的に「リスク管理」「コンプライアンス」「CSR調達」「情報開示」を重点課題として組み入れており、これらの目標とKPIを設定してコンプライアンス体制の強化を推進していきます。

リスク管理

当社グループでは、エネルギーの安定供給への強い使命感のもと、「安全・リスクマネジメント委員会」を年2回開催し、グループ全体にかかわるリスクや安全方針の審議、リスクへの取り組みや安全活動の進捗を確認するなど、グループにおけるリスクおよび安全管理の充実を図っています。中核および準中核事業会社

においては、「リスクマネジメント委員会」などの機関を設置し、それぞれの事業内容や機能に応じて各社固有のリスクに対する取り組み状況の確認、安全施策の立案、安全活動の進捗管理など、リスクマネジメントおよび安全活動の推進を行っています。

全社リスクと対応

当社グループでは、CSR中計の重点項目の一つ「リスク管理」の中で「優先取り組みリスク選定と対処の強化」をKPIとして掲げています。2019年度は、以下の課題を抽出し、グループ全体にかかわる全社リスクの選定と着実な対応に取り組みしました。

※リスクの категория G: ガバナンス、当社のCSR中計では「安全操業・安定供給」「品質確保」「リスク管理」「CSR調達」「情報開示」「コンプライアンス」を含む。

リスク	内容	2019年度の対応	評価	
G	危機発生時のメディア訓練	社長・役員向けの実践訓練を実施	千葉・堺製油所、函館物流基地にて座学・模擬訓練を実施。本社役員向け実践訓練は実施せず。参考:2020年5月27日、本社役員向けに座学研修実施。	×
G	新型インフルエンザ等のマニュアル改正	各グループ会社にて、マニュアル、「重要業務選定シート」を策定	製油所マニュアル本体策定。各社へ「重要業務選定シート」の策定を指示。新型コロナウイルス対応を踏まえた内容に見直すことを検討。	×
G	地震BCPへのさらなる対応	経産省による格付け審査で「S評価」獲得をめざす	「系列BCP格付評価」オールSを獲得。全国の地震を想定したBCPマニュアルへの全面改訂を実施。二次基地(物流基地、共同油槽所)の被害想定を検討を実施。	○
G	非財務情報の公開によるレピュテーションリスク回避	適切な情報開示を実施	コスモレポート・サステナビリティサイトでの情報開示。FTSE4Good Developed Indexを始め、各格付機関による評価、CDP等のアンケートへの対応を実施。	○
G	品質管理に関するガバナンス強化	品質管理に関する企業不祥事が発生し、社会的信用を失墜するリスクを防止	コスモエネルギーグループの製品・サービスに関する品質管理体制の強化を実施。「報告基準」に品質事故を追加。	○

コンプライアンス～企業倫理推進体制

当社グループは、企業行動指針の推進・実施・確認を行う「企業倫理・人権委員会」、その運営を補佐する「コスモエネルギーグループ企業倫理推進室」を設置しています。「企業倫理・人権委員会」では、社員の倫理観を高めることを目的として、グループ全社員を対象とした企業倫理研修やeラーニング等のさまざまな施策の立案・実施・評価をしています。

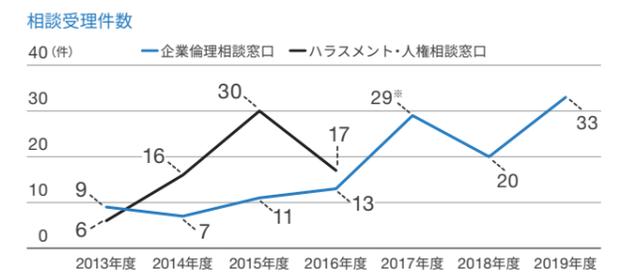
また、社員の法令違反・社規違反等の不正行為および倫理上の問題を匿名で相談・通報できる「コスモエネルギーグループ企業倫理相談窓口(企業倫理ヘルプライン)」を企業倫理推進室内および社外の法律事務所に設置しています。2019年度の相談受件数は33件(企業倫理15件、ハラスメント相談18件)となりました。

2018年度に社外に追加設置した「ハラスメント相談窓口」においては、セクハラ・パワハラ等、職場の人間関係に関する相談を外部専門家が対応することで、カウンセリング効果により、社員のメンタルヘルス不調の未然防止・自身での職場環境の早期

解決を図っています。

相談・通報の内容・対応について監査等委員である取締役にて定期的に報告を行い、内部通報体制および職場環境の継続的な改善を図っています。なお、2019年度の当社グループにおける重大なコンプライアンス違反[※]は2件あり、いずれも再発防止策を徹底しました。

※当社社内規定に定める最も高い危機レベルに該当する違反、もしくは事故



※2017年度から社内の「ハラスメント・人権相談窓口」を廃止し、企業倫理相談窓口に統合しています。

CSR調達

コスモエネルギーホールディングスおよび中核3事業会社では、購買活動において、従来の品質、価格、納期、グリーン度評価等を総合的に判断したグリーン購入に加え、反社会的勢力を排除した取引への取り組みを推進しています。CSR中計期間において、ESGへの取り組みを配慮したCSR調達方針を策定し、広くステークホルダーに開示する他、賛同いただけるサプライヤーと協

働することにより、持続的発展を図ることをめざしています。2019年度は当社グループとしての「CSR調達方針」およびコスモ石油にて「CSR購買ガイドライン」をそれぞれ策定しました。今後は、取引先(サプライヤー)の皆様に対し、本内容についてご理解と賛同をいただくとともに、本ガイドラインに準拠した取り組みを求めています。

情報開示～ESG評価対応

コスモエネルギーホールディングスは、世界の代表的なESG投資インデックスの一つである「FTSE4Good Developed Index」に2003年に日本の石油会社として初めて採用されて以来、18年連続で採用されています。

また、GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)がESG投資指数として選定している「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に、4年連続で採用されています。2020年、米国MSCI社が女性活躍推進法により開示される女性雇用に関するデータに基づき選定する「女性活躍指数(愛称「WIN」)」に当社として初めて採用されました。SOMPOアセットマネジメント社がESG評価と株式価値評価を組み合わせ独自に設定する「SOMPOサステナビリティ・インデックス」についても、4年連続で選定[※]されています。



2020 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数(WIN)

※昨年度までの「SNAM サステナビリティ・インデックス」の構成銘柄選定を含みます。
 ※コスモエネルギーホールディングス株式会社のMSCI指数への組み入れ、および本リリースにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名称の使用は、MSCIまたはその関連会社によるコスモエネルギーホールディングス株式会社への後援、保証、販促には該当しません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI指数の名称およびロゴはMSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。